

第 4 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 4 号)

1 平成元年12月22日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1番	脇田 安保	2番	永井 龍平
3番	田沢 勝信	4番	庄司二三男
5番	岩村 勝弘	6番	山崎 雅己
7番	生稲 陞	8番	鈴木 勝美
9番	山口 康雄	10番	鈴木 忠夫
11番	神田 守隆	12番	榎本 春光
13番	山中金治郎	14番	小宮 利夫
15番	横溝 功	16番	石井 昌治
17番	石井 謀	18番	日下 君敏
19番	川名 正二	20番	福原 勤
21番	辻田 実	22番	黒川 平治
23番	流山源次郎	25番	渡辺 昭夫
26番	近藤 好雄	27番	林 豊
28番	飯田 義男		

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長	半澤 良一	助 役	小倉 澄男
収 入 役	渡辺 弘	市長公室長	錦織 茂
総務部長	渡辺 秀夫	民生部長	小幡 清之
経済部長	安西 良一	水道課長	鈴木 信一
教育委員会 教 委 員 会 長	高橋 弘之	教育委員会 教 育 会 長	福原 修
選挙管理委員会 選 管 理 委 員 会 長	加藤 利	選挙管理委員会 選 事 務 局 書 記 長	佐藤 澄雄
監査委員	鈴木 重司	監査事務局長	熊坂 桂一
農業委員会 農 業 委 員 会 長	斎藤 明	農業委員会 農 事 務 局 会 長	岩城 昭

1 出席事務局職員

事務局 長 川上 義雄

事務局 長 補 佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第4号）

平成元年12月22日午前10時開議

- | | | | |
|---------------|---|--------|--|
| 日程第1 | { | 議案第62号 | 館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第63号 | 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第64号 | 館山市総合保養地域重点整備地区における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について |
| 日程第2 | { | 議案第65号 | 平成元年度館山市一般会計補正予算（第4号） |
| | | 議案第66号 | 平成元年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） |
| | | 議案第67号 | 平成元年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号） |
| 日程第3 | { | 議案第68号 | 平成元年度館山市ユースホステル特別会計補正予算（第1号） |
| | | 議案第69号 | 平成元年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号） |
| | | 議案第70号 | 平成元年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号） |
| 日程第4 継続審査について | | | |
| 日程第5 | { | 請願第21号 | 公立学校事務職員・栄養職員の給与の国庫負担削減に反対する請願書 |
| | | 請願第22号 | 第5次学級編制及び教職員定数改善計画の早期完結を求める請願書 |
| | { | 請願第20号 | 館山市館野の全地域に、上水道を早期に設置願 |

日程第6	うことについての請願書
請願第24号	コメの輸入阻止に関する請願書

請願第24号 コメの輸入阻止に関する請願書

日程第7 発議案第5号 法務局職員の増員に関する意見書について

日程第 8 発議案第 6 号 保育所措置費の国庫負担率復元に関する意見書
について

開 議 午前10時06分

◎議長（林 豊君） 本日の出席議員数26名、これより第4回市議会定例会第4日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（林 豊君） 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（林 豊君） 日程第1、議案第62号乃至議案第65号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（林 豊君） ただいま議題となりました各議案は、ともに12月15日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長榎本春光君。御登壇願います。

(総務委員会委員長榎本春光君登壇)

◎総務委員会委員長（榎本春光君）　ただいま議題となりました議案第62号乃至議案第65号にかかわる総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、18日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その概要を御報告申し上げます。

まず、議案第62号館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定についてであります。市職員の平均年齢、ラスパイレス指数について説明を求めましたところ、平均年齢については一般行政職39歳4カ月、幼稚園教育職39歳、技能労務職48歳6カ月で、ラスパイレス指数については4月1日現在の106.1で、改定後のものは出ていないとの説明がありました。

次に、議案第64号館山市総合保養地域重点整備地区における固定資産税の特例措置に関する条例の制定についてであります。今回の税率の根拠、考え方について説明を求めましたところ、県の条例及び半島振興法の軽減税率に合わせたものであり、重点整備地区の指定を受けた市町村の中で、12月議会で提案している市町村はすべて同率である。全国的に見ても恐らく同じであると思うとの説明がありました。

次に、他の市町村より本市がさらに有利な税率にすることはできるかとの質問に対しまして、法的にはできるとの説明がありました。

さらに、法的に可能であれば、本市独自の税率を設定していくことはどうかとの質問に対しまして、22の市町村が重点整備地区の指定を受けており、房総リゾート地域ということで一体的、総合的に開発をするということ、さらに半島振興法の軽減措置と整合性を持たせるという観点から、独自の軽減税率には問題があると考えたとの説明がありました。

なお、半島振興法の関係で軽減の適用を受けた企業については、62年度3社、63年度8社、本年度10社であるとの説明がありました。

次に、討論において、リゾート振興は本市にとって最も中心的な課題であるが、リゾート法そのものは全国規模のもので、全国均一なものである。進出企業に対する特例措置が具体的には少ない中で、固定資産税の軽減措置は大きな目玉である。経済的効果を考え、法的に問題がないとすれば、他市町村より優位性を持つためにさらに軽減することもいいのではないかと意見がありました。

次に、議案第65号平成元年度館山市一般会計補正予算（第4号）であります。特別土地保有税 2,800万円の補正について説明を求めましたところ、特別土地保有税については土地の保有分と取得分になっており、当初予算においては取得分の予測がつかないので、保有分のみを計上している。年度途中で2件、約3万 2,000平方メートルの取引があったための取得分の増であるとの説明がありました。

次に、財源内訳の補正等について詳細に説明を求めました。委員より、当初一般財源をもって措置したものについては、補助金交付決定に伴って単に財源を組み替えるのではなく、その分をさらに増額することにより事業の強化、充実を図るべきではないかとの意見がありました。

次に、不燃ごみ収集運搬業務委託料 381万 1,000円の減額について、さらに収集状況について説明を求めましたところ、契約残に伴う補正であり、収集量については11月末で不燃ごみの場合昨年度より8.24%ふえているとの説明がありました。

次に、土木費が伸びているが、投資的経費の中の普通建設事業費の決算見込みはどうか説明を求めましたところ、当初予算では約28億 1,000万円、最終的に予算上は32億 3,000万円程度となる。本年度伸びた大きな要因は、運動公園の関係があるが、計画的に都市基盤整備を進めている中で、土木費についても毎年増額してきているとの説明がありましたが、さらにリゾートの重点地域にも指定されていることから、道路、環境等の整備に今後とも努力されるよう要望いたしました。

以上、審査の概要を申し上げましたが、採決の結果、付託を受けました議案第62号乃至議案第65号の各議案につきましては、それぞれ全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（林 豊君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（林 豊君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（林 豊君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 議案の第64号館山市総合保養地域重点整備地区における固定資産税の特例措置に関する条例の制定に反対の討論をいたします。

いわゆるリゾート法で指定を受けた事業について固定資産税の減税を実施しようとするものであります。しかし、もともとリゾート法は民間資金の導入によるいわゆる民活型の開発を進めようとするもので、あくまでも民間企業の営利を目的とした事業が中心であります。国のお墨つきを与えてあたかも公共的な事業との体裁をとろうとしていますが、営利目的であることに変わりはありません。

既に減税の対象になる事業者も特定されております。減税見込額は2,900万円とのことでありましたが、この財源については国からの補てん措置はありません。全額市財源からの持ち出しということになります。市民には高い固定資産税や都市計画税を強いていながら、なぜこれらの特定の事業者のために減税をしなければならないのでしょうか。減税を受けた事業者は、そのことによって地域社会に対して、例えば雇用の場を将来にわたって維持するなどという責任が生じるわけでもありません。結局それらは開発事業者の利益を市民の負担で補てんするだけであります。

リゾート法は開発大企業のもうけ中心の仕組みになっています。そうだからこそ、市はこれに追随することなく、むしろ地元の観光業者や農業、漁業など1次産業への助成措置を拡充することが必要であります。健全なリゾートは、これらの地元産業の振興によってこそ成り立つものと思います。

以上の点を指摘し、反対討論といたします。

◎議長（林 豊君） 以上で神田守隆君の討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（林 豊君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第62号及び議案第63号について一括して採決いたします。

議案第62号及び議案第63号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、議案第62号及び議案第63号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

次いで、議案第64号館山市総合保養地域重点整備地区における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（林 豊君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次いで、議案第65号平成元年度館山市一般会計補正予算（第4号）について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（林 豊君） 日程第2、議案第66号及び議案第67号の各議案を一

括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（林 豊君） ただいま議題となりました各議案は、ともに12月15日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長鈴木勝美君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長鈴木勝美君登壇）

◎文教民生委員会委員長（鈴木勝美君） ただいま議題となりました議案第66号及び議案第67号にかかわる文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、18日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その概要を御報告申し上げます。

まず、議案第66号平成元年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてであります。

当市における医療費、国保税の状況について説明を求めましたところ、62年度1人当たりの医療費は11万 6,255円で、県内80市町村中9番目、国保税については、63年度1人当たりの調定額5万 9,400円で、県内28市中4番目であるとの説明がありました。

また、資格証明書の取り扱い方法について質疑があり、平成2年度に検討したいとの答弁がありました。

採決の結果、本案については全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第67号平成元年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）についてであります。

当市における老人医療の状況について説明を求めましたところ、受診率、1件当たり医療費ともに県内では中位にあるとの説明がありました。

そのほかに老人病院についての質疑がありました。

採決の結果、本案については全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、文教民生委員会における審査の概要を御報告申し上げまして、委員長報告を終わります。

◎議長（林 豊君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（林 豊君） ただいまの委員長報告について御質疑はありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（林 豊君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（林 豊君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

議案第66号及び議案第67号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、議案第66号及び議案第67号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（林 豊君） 日程第3、議案第68号乃至議案第70号の各議案を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（林 豊君） ただいま議題となりました各議案は、ともに12月15日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長鈴木忠夫君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長鈴木忠夫君登壇）

◎建設経済委員会委員長（鈴木忠夫君） ただいま議題となりました議案第68号乃至議案第70号にかかわる建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、19日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その概要を御報告申し上げます。

議案第69号平成元年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）についてであります。

千葉県総合事務組合の負担金が支出されているが、組合の事務所の場所、業務内容について説明を求めましたところ、県内21市のほか、各町村と一部事務組合で構成されているもので、事務所は県の自治会館内にあり、職員の退職手当の支給が主な業務であるとの説明がありました。

次に、水道事業の収支見通しについて説明を求めましたところ、本年は雨に恵まれ、作名ダムも現在52万トン、82%の貯水率となっており、経営内容は予算に沿って順調に執行しているが、昨年をピークとして収益が落ちるのではないかと考えておるとの説明がありました。

次に、議案第70号平成元年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）についてであります。

年末年始の宿泊申し込みの状況及び年間の利用率について説明を求めましたところ、本年度の年末年始は9,280人の申し込みがあり、1月1日の倍率は26倍で最も高く、この状況は例年同程度で推移している。宿泊者は、地元の警察官立ち会いで抽せんにより決定している。なお、年間の利用率は63年

度で46.2%であるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第68号乃至議案第70号については、それぞれ全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、建設経済委員会における審査の概要を御報告申し上げまして、委員長報告を終わります。

◎議長（林 豊君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（林 豊君） ただいまの委員長報告について御質疑はありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（林 豊君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（林 豊君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

議案第68号乃至議案第70号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、議案第68号乃至議案第70号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（林 豊君） 日程第4、継続審査についてお諮りいたします。

文教民生委員会に付託中の請願第23号年金者現況証明の無料化をもとめる請願書については、委員長から慎重審査の必要上、会議規則第104条の規定

により、閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

お諮りいたします。請願第23号を委員長から申し出のとおり閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、請願第23号は閉会中の継続審査とすることに決しました。

請願書の上程

◎議長（林 豊君） 日程第5、請願第21号及び請願第22号の各請願を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（林 豊君） ただいま議題となりました各請願は、ともに12月15日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各請願に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長鈴木勝美君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長鈴木勝美君登壇）

◎文教民生委員会委員長（鈴木勝美君） ただいま議題となりました請願第21号及び請願第22号にかかわる文教民生委員会における審査の概要を御報告申し上げます。

まず、請願第21号公立学校事務職員・栄養職員の給与の国庫負担削減に反対する請願書についてであります。

国庫負担削減による市への影響について説明を求めましたところ、学校事務職員及び栄養職員については県費負担職員であり、市の負担はないとの説明がありました。

採決の結果、本請願については全員一致をもって採択すべきものと決しました。

次に、請願第22号第5次学級編制及び教職員定数改善計画の早期完結を求

める請願書についてであります。

早期完結を求めるとは具体的にどういう意味かとの質疑に対し、計画年度内での達成を要望しているものであるとの説明がありました。

採決の結果、本請願については全員一致をもって採択すべきものと決しました。

以上、審査の概要を御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（林 豊君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（林 豊君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（林 豊君） これより討論を行います。
通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（林 豊君） これより採決いたします。
採決は一括して行います。
請願第21号及び請願第22号についての委員長の報告は採択であります。
各請願を委員長の報告どおり採択と決しますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、請願第21号及び請願第22号の各請願はいずれも採択と決しました。

日程の追加

◎議長（林 豊君） お諮りいたします。

ただいま採択されました請願書に附帯して、発議案第7号義務教育費の国庫負担削減に反対する意見書について及び発議案第8号第5次学級編制及び教職員定数改善計画の早期完結を求める意見書についてが提出されました。

この際、各議案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって、各議案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長(林 豊君) 発議案第7号及び発議案第8号の各議案を一括して議題といたします。

議案を配付いたさせます。

(議案配付)

◎議長(林 豊君) 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(林 豊君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長(林 豊君) 提出者の説明を求めます。

(8番議員鈴木勝美君登壇)

◎8番(鈴木勝美君) ただいま議題となりました発議案第7号義務教育費の国庫負担削減に反対する意見書について及び発議案第8号第5次学級編制及び教職員定数改善計画の早期完結を求める意見書について、一括して提案理由を御説明申し上げます。

各議案につきましては、ただいま採択されました請願書の趣旨をそれぞれ関係機関に要望いたしたく、お手元に配付のとおりいずれも8名の賛成者を

得まして提出いたした次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明いたします。

◎議長（林 豊君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（林 豊君） これより質疑を行います。

御質疑はありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（林 豊君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（林 豊君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（林 豊君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

発議案第7号及び発議案第8号を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、発議案第7号及び発議案第8号は原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長（林 豊君） 日程第6、請願第20号及び請願第24号の各請願を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（林 豊君） ただいま議題となりました請願第20号は9月19日の本会議において、請願第24号は12月15日の本会議において、ともに建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより各請願に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長鈴木忠夫君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長鈴木忠夫君登壇）

◎建設経済委員会委員長（鈴木忠夫君） ただいま議題となりました請願第20号及び請願第24号にかかわる建設経済委員会における審査の概要について御報告申し上げます。

まず、請願第20号館山市館野の全地域に、上水道を早期に設置願うことについての請願書であります。本請願は9月定例会で本委員会に付託され、継続審査に付されていたものであります。

現在の状況から、南部地区利水計画によらなければ館野、九重地域の水道設置はできないか、利水計画に沿って市ではどのように事業を進める考えか説明を求めましたところ、館野、九重の水道については、現在まで大変努力してきた。九重地区の水源についても地元の同意が得られず現在に至っている。他に水源もなく、今回の南部地区利水計画を待たざるを得ない。市としては、平成2年度に基本計画の作成、3年度に館野、九重の給水区域拡張を含めた事業認可申請を行い、遅くとも平成4年度中には館野、九重の配管工事に着手し、平成7年には通水できる確信を持って仕事を進めているとの説

明がありました。

他に水源があれば水道設置はできると理解してよいかとの質問に対しまして、そのように理解して結構であるとの答弁がありました。

なお、朝夷地区から給水してもらうことについても検討したが、将来計画の中では水源が不足するということで不可能となった。

また、九重地区の水源については、南部地区利水計画に基づいて計画を進めることになっているので、現在は地元と交渉する考えはないとの説明がありました。

採決の結果、本請願については全員一致をもって採択すべきものと決しました。

次に、請願第24号コメの輸入阻止に関する請願書についてであります、質疑はありませんでした。

採決の結果、賛成者がなく、不採択とすべきものと決しました。

以上、審査の概要を御報告申し上げまして、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（林 豊君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（林 豊君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
11番。

◎11番（神田守隆君） 委員長にお尋ねいたします。

ただいまの請願第20号でありますけれども、上水道を早期に設置願うことについての請願書については採択すべきものだということになったということでもありますけれども、今の御説明を伺っていますと、南部利水計画が来ない限り市としては地元と水道の設置については折衝する考えはない、こういうようなお話で、どうも今の質疑の内容からすると、市当局は早期実現ということについては無理だ、こういう答弁をされているやにどうも今のことからうかがえるわけなんです。

そこで、早期設置ということについての採択をしたということでもあります

けども、この早期設置ということの中身についてお尋ねしたいのでありますけれども、この早期というのは南部利水計画を待たずして積極的に早くやれ、こういう趣旨のものなのか、あるいは南部利水計画までは無理だから、南部利水計画の実現のめどが立った段階で早くやれ、こういう意味なのか、その辺についてははっきりとした今の説明の中でうかがえないものですから、その辺については委員会としての審議の内容はどうであったのか、御説明をいただきたいということが1点です。

それから、請願の第24号コメの輸入阻止に関する請願書についてであります。審議がされなかったような今の御報告でありますけれども、コメの輸入問題がこの館山市の農業にどのような影響を及ぼすのか、こうした点で、例えば館山市のコメの生産量、こういうものがどういう段階、どういう水準にあるのか、こういうことについての質疑が全くされなかった、こういうふうに今の報告からは理解できるんですけども、これで慎重な審査というふうに考えていいものなのかどうなのか、委員長さんの御見解もいただきたいと思うんです。

（「休憩」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 暫時休憩をいたします。

午前10時49分 休憩

午前11時05分 再開

◎議長（林 豊君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

委員長鈴木忠夫君。御答弁願います。

◎建設経済委員会委員長（鈴木忠夫君） 第1点につきましては、いつまでに実施されたいとの質疑はありませんでしたが、前向きな取り組みを要望するとの意見がありました。

第2点につきましては、報告のとおり質疑、討論ともにありませんでしたので、御了承願います。

また、委員長個人の考えを申し述べることは差し控えさせていただきます。

◎議長（林 豊君） 以上で鈴木忠夫君の答弁を終わります。

他に御質疑はございませんか。 — 御質疑なしと認めます。

討 論

◎議長（林 豊君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 請願第24号コメの輸入阻止に関する請願書に賛成の討論を行います。

本件は、建設経済常任委員会に付託をされ、何らの質疑、討論もなく、不採択というような決定をされたという御報告でありましたけれども、慎重な審査をしたとはとても言いがたい、大変残念なことだと思います。

さきの参議院選挙で全国26ある1人区のうち23の1人区で自民党が敗北をした、これは消費税の問題もさることながら、米の問題をめぐって国民の自民党に対する大きな怒りが爆発したことだというふうに私は理解しております。そもそも米は日本人にとって命のもとであります。日本農業にとって大黒柱であります。さきの参議院選挙では、各党とも米輸入自由化反対を公約をいたしました。

既に我が国の穀物の自給率は、1960年当時の80%から30%を切るところに落ち込んでおります。こうした中で、アメリカの圧力に屈して米の輸入を許せば、日本の水田農業はもちろん、農業そのものが崩壊につながるものであります。もしそんなことが許されるならば、国民の食糧と健康、民族の自立はどうなるのでありましょうか。地域経済も崩壊しかねません。国民の基本的な食糧は自給が先進諸国では当然のこととされております。この30年間アメリカはもちろん、フランス、イギリス、西ドイツなどいずれも穀物自給率は年々上がっている中で、日本だけが下がってきているのであります。日本の穀物自給率は先進諸国の中で最低の水準であります。

米は輸入を認めるわけにはいきません。そのため、政府に対して意見書を提出することは党派を超えての願いと思います。

以上の点を主張し、私はこの請願に対する賛成の討論といたします。

◎議長（林 豊君） 以上で11番神田守隆君の討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありませんか。

21番。御登壇願います。

（21番議員辻田 実君登壇）

◎21番（辻田 実君） 私は、議案の第20号には賛成の討論、それから24号には反対の討論をいたしたいと思います。

20号につきましては、先ほど委員長報告がございましたけれども、その委員長報告の中で、委員会におきますところの審議においては、執行部からの答弁として、南部水道の利水と合わせて平成7年に給水するんだということがあったと、それらを体してという文言があったわけでございますけれども、これにつきましてはこれとして了解をいたしたいというふうに思います。

しかしながら、本請願の趣旨は平成7年を待たずして給水してもらいたいというのが請願者の意思であり、聞くところによりますと、館野、九重地区の町内会の役員さんだと有志が集まって、そういうことではないのでもって早くやってもらいたい、こういうことだということも申し合わせをしたということを私のところにも言ってきた町内会の代表の方もおるわけでございまして、そういう点から見てまいりますと、執行部の見解は見解として、これは委員会としては早期実現に賛成されたわけでございますから、私はこの請願者の趣旨を解して、ひとつ7年までには給水すると。

これは南部水道が給水できるということでございますけれども、しかしながら計画はそうであっても、現在の南部水道の状況からいって、どんな人に聞いても末端の給水というのは10年、20年先だということを言われているわけでございます。それをここでもって言葉のやりとりとして7年には開通します、こういうことを言っても現実的には説得力私はないと思います。そのときどうなるんだということは、今から5年先のことでもってどうこう言ったってこれはもうしょうがないことになってしまいますので、もっと現実的に対応しなきゃならない、こういうふうに思うわけでございまして、こういう点はやはりこの請願の趣旨に基づきまして十分今後議会の意思を反映さ

せていただきたい、このことをつけ加えまして、私は賛成をいたしたいと思っています。

請願24号につきましては、この点につきましてはいろいろな経緯もあるようでございます。建設委員会の出したところの結論もそれなりのものがあると思いまするけども、私は農業協同組合の正式の代表からも、米の自由化につきましては何としても反対してもらいたい、これは館山市農民の総意だということでもって申し入れも受けて、また依頼もされておる。会うたんびに何とかそういうことを言われまして、また私の地元の農家組合の集まり、そういうところへ行っても、党派を超えてひとつ米の自由化だけは反対してもらいたい、これはもう館山の農民は大変なんだ、特に酪農関係だとかかんきつ類についてはもう大変なことだから、これはもう思想心情を問わず我々農民は一生懸命に反対するので頼む、こういうことを言われまして、農民の中からこの自由化について賛成とかあいまいな態度をとってもいいというようなことは全く聞いたことないんです。

そういう中でもって、私は議会でもってこれを否決するというのは——採択を否決するということになると、こうした人に対して私は申し開きができないんじゃないかと率直に思うわけございまして、これはいろいろな経緯があったと思いまするけども、そういう点はひとつ私は乗り越えまして、やはり本当に館山市の農業の将来、そして農民の声、私は農民の声だからやるということじゃなくて、本当に私は私なりの農業問題を考えた場合に、本当に自由化が進んだら館山の農業は大変なことになるという私自身の信念を持っております。そして、館山の農民も同じであるので、私は農民の声だからという、だからやるということじゃなくて、本当に農業を考えた場合に、やはりこれは採択してやるのが当然だなと。他の議会等におきましても毎回毎回何度も採択して、そして農民の意思というのを国に反映させようということでございますので、私はそういう意味におきまして、やはり米の輸入阻止に対するところの請願書というものは採択してやるのが至当であろうと。建設委員会の皆さんについてはいろいろ経過、状況あったと思いまするけども、私はそこら辺ひとつ曲げて議会のそういったところの主体性というもの

を発揮していただければということをお願い申し上げまして、反対の討論に
させていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

◎議長（林 豊君） 他に討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（林 豊君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、請願第20号館山市館野の全地域に、上水道を早期に設置願うこと
についての請願書について採決いたします。

本請願についての委員長の報告は採択であります。

本請願を委員長の報告どおり採択と決めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は採択と決
しました。

次いで、請願第24号コメの輸入阻止に関する請願書について起立により採
決いたします。

本請願についての委員長の報告は不採択であります。

本請願を委員長の報告どおり不採択と決めますことに賛成の諸君の起立を
求めます。

（賛成者起立）

◎議長（林 豊君） 起立多数であります。よって、本請願は不採択と決
しました。

なお、この際申し上げます。各常任委員会における陳情審査結果が報告さ
れております。お手元に配付の印刷書により御了承を願います。

議案の上程

◎議長（林 豊君） 日程第7、発議案第5号法務局職員の増員に関する

意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(林 豊君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長(林 豊君) 提出者の説明を求めます。

12番。

(12番議員榎本春光君登壇)

◎12番(榎本春光君) ただいま議題となりました発議案第5号法務局職員の増員に関する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、陳情審査結果報告のとおり、総務委員会において了承できるものと決定されました陳情書の趣旨を関係機関に要望いたしたく、お手元に配付のとおり7名の賛成者を得まして提出いたした次第であります。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明といたします。

◎議長(林 豊君) 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長(林 豊君) これより質疑を行います。

御質疑はありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長(林 豊君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省

略することに決しました。

討 論

◎議長（林 豊君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（林 豊君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（林 豊君） 日程第8、発議案第6号保育所措置費の国庫負担率復元に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（林 豊君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（林 豊君） 提出者の説明を求めます。

8番議員鈴木勝美君。

（8番議員鈴木勝美君登壇）

◎8番（鈴木勝美君） ただいま議題となりました発議案第6号保育所措置費の国庫負担率復元に関する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、陳情審査結果報告のとおり、文教民生委員会において了承できるものと決定されました陳情書の趣旨を関係機関に要望いたしました

く、お手元に配付のとおり8名の賛成者を得まして提出いたしました次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明いたします。

◎議長（林 豊君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（林 豊君） これより質疑を行います。

御質疑はありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（林 豊君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（林 豊君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（林 豊君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり

可決されました。

閉 会 午前11時26分

◎議長（林 豊君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、第4回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第62号乃至議案第70号
- 1 請願第20号乃至請願第22号及び請願第24号
- 1 発議案第5号及び発議案第6号
- 1 日程の追加・発議案第7号及び発議案第8号
- 1 継続審査について（請願第23号）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長 林 豊

館山市議会議員 永 井 龍 平

館山市議会議員 近 藤 好 雄